Vol.35

手作りでよろこびの花を咲かせたい
さくらのつぼみ

いつもさくらほりきりをご愛顧いただき、ありがとうございます。皆様により楽しんでいただけるよう私たちが日頃取り組んでいることや、皆様からいただいたお便りを、お伝えしていきたいと思っています。

公式note「さくらのつぼみ」では、お客さまの声や手作りにまつわる話を日々更新しています！

公式noteより ご紹介！

「これは私にできるだろうか？」その不安な気持ち、どうぞ私たちにお話しください【お客様相談室】

こんにちは。さくらほりきりお客様相談室のなかがわです。
日々お客様よりいただくご相談の内容は、間違いや紛失等による材料のご依頼が多いのですが、時には「気持ち」のご相談をされる方もいらっしゃいます。今回は作ることへの不安が募り、お電話をくださったお客様とのエピソードを紹介したいと思います。

◇不安な気持ちでかけてきた電話

2024年9月のある日、このようなご相談をいただきました。

「以前に購入した福招きのリースが見れば見るほど難しそうに思えてしまいずっと作れないでいます…」

このお電話をくださったのは、17年程さくらほりきりの商品をご愛顧いただいているN様。購入された「福招きのリース」は松竹梅や鯛・小槌など縁起が良いとされるモチーフを集めたリースで、お正月飾りとして発売以来ご好評をいただいている大人気商品です。

N様がその商品の可愛らしさに一目惚れをして購入されたのは、2022年11月のこと。早速注文をして商品を手にした時、突如理由もなく「これは私にできるだろうか」という不安に襲われてしまい、そこから作る気持ちが一気に萎んで、袋を開けることができなくなってしまったそうです。
それ以降、時々「やってみようかな」と思って商品を手にするものの、いざ目の前にすると「やっぱり難しそうだなぁ…」という気持ちが強まり、結局「商品を手にしては元に戻す」を1年10カ月の間ずっと繰り返されていたとのこと。

◇完成までの伴走開始

このお電話をいただいた時点で既に購入から2年弱。お話をうかがえたことでN様がお一人でずっと「失敗するかもしれない不安」と「作って完成させたい」の狭間で悩まれているのを知ることができました。ご相談いただけて良かった！

まずは募る不安を解消する場所（お客様相談室）があることを知っていただくことからと思い「完成までサポートしますので、N様のペースで一緒に少しずつ作っていきましょう」とお声を掛けました。N様は話したことで安心されたのか「はい、よろしくお願いします」と少し明るくなった声でお返事をいただき、ここから完成までの伴走開始です。

「まずはこの工程まで進めていただき、終わりましたら次の工程を説明するのでご連絡ください」とお伝えし電話を終えました。

◇まだまだ続く不安な気持ち

それから進捗が気になりつつ、プレッシャーになっても良くないと考え、あえてこちらからお伺いはせずにN様からご連絡が来るのをお待ちしていました。次のご連絡をいただいたのは、それから3ヵ月が経過した12月の暮れでした。
「前回電話をしてから作ろうと思って商品を手にしてみるけど、やっぱり難しそうに感じてしまい、結局まだその気持ちになれなくて…もう少し(作るのを)待ってもらっていいですか」
ひとまずは「製作期限がある訳ではないので、焦らず、また作りたい気持ちが高まったら再開しましょう」とお伝えしました。

◇製作を開始、そして

それから間もなく2025年を迎え、N様の状況を気にしつつ、2月も半ばになった頃にお電話がありました。
開口一番「今少しずつ作り始めていて、次の工程に行く前に作り方を確認しようと思って電話しました」と、前回12月の時とは真逆の明るい声でした。
その2日後にも作り方のお問い合わせがあり、順調に製作が進んでいる様子を確認。そして2月の末、遂にその時が訪れました。

N様から開口一番「無事完成しました～」の言葉が！！！！
話されるお声には当初の不安げな様子は全くなく、明るく少し誇らしげな様子で、完成したことで自信を得られたように感じました。不安を乗り越えて見事完成したN様の頑張りを称えて喜びを分かち合った後、早速この次に作る商品のご相談があり、それにお答えして電話を終えました。商品のご購入から2年3ヵ月、「福招きのリース」は無事完成の時を迎えることができました。

◇活力や自信に繋がる手作りをサポートします

皆様それぞれに様々なご事情があり、できるペースもできることも価値観も異なります。何かのご縁で私たちの商品に出会い「作ってみたい」と思われた気持ちが作品として形になり、それで得られた「達成感や充実感」が、生きる活力や自信となっていただきたいと私たちは考えています。

お客様相談室ではお客様一人一人の状況に合わせて丁寧に寄り添い解決策を考え、全力でサポートいたします。ゆっくりでも大丈夫！
商品購入のご相談や材料の紛失、切り間違え等、何かお困りごとが起きた際には例えば隣にいる友達に声を掛けるように、どうぞお気軽にお電話くださいませ。

ダリア【9月】

バラが「花の女王」と呼ばれるのに対し、「花の王様」と呼ばれるダリア。その名の通り、「華麗」「気品」「威厳」といった花言葉があります。ナポレオンの妻ジョセフィーヌが愛した花としても有名です。
暑さにも寒さにも弱いダリアは、初秋の涼しい空気の中で、その美しい姿を楽しめます。和名は「天竺牡丹」といい、かつてヨーロッパからインドを経由して持ち込まれたからだそう。牡丹は美しい花の代名詞ともされ、「遥か遠い国からきた美しい花」という意味も込められているとか。
多くの花びらが立体的に重なり、気品溢れる存在感が華やかで、お祝いの場の装飾や開業祝いとして大人の男性への贈り物にも最適。お世話になった方や、長寿祝いにも喜ばれます。

ガーベラ【10月】

真っすぐに伸びた茎から、大きなお花が咲くガーベラ。その伸びやかな姿にふさわしく、「チャレンジ」「常に前進」「忍耐強さ」といった花言葉があります。
その前向きな花言葉から、新たなことへ挑戦する方や、受験生などへのエールとして贈ることも。花の色も豊富なため、主役としても差し色としても活かせる花束に多く用いられます。また、花言葉に加え、ほとんど香りがしないことから、お見舞いにも使われます。
前向きなメッセージを添えて、周りの方を元気にする贈り物として最適です。

カラー【11月】

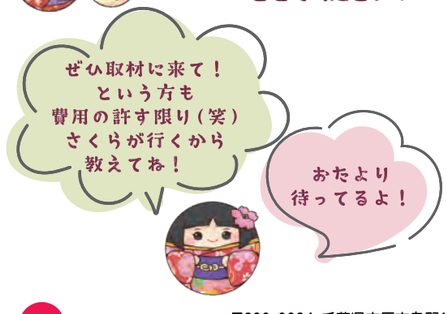
くるりと柔らかにカールしたような姿が特徴的なカラー。花言葉には、「清純」「華麗なる美」「乙女のしとやかさ」などがあります。
カラーと聞くとまずは白を思い浮かべる方も多いですが、現在は黄色やピンク、グリーンなども流通し、その造形的な様子からアレンジメントにも多く使われます。
ギリシャ語で「究極の美」という意味のカロスから名付けられたとされるカラー。スマートで凛とした美しさを持ち、神話ではその美しさに嫉妬した美の女神ヴィーナスが、中心に棒のようなものをつけたことから今の姿になったとされます。
また、白いカラーはクラシカルなウエディングドレスを連想させ、そこから「清純」という花言葉へと繋がります。
結婚や記念日のお祝いとしてはもちろん、いつまでも瑞々しい若さや健康を願い、お誕生日や長寿祝いに贈るのにもおすすめです。

ポインセチア【12月】

鮮やかな赤の大ぶりの葉が印象的なポインセチア。クリスマスの花といえば誰もが思い浮かべるほど、定番となっています。これは、赤と緑の葉と、白い樹液が、赤・緑・白のクリスマスカラーを表すからだそう。クリスマスカラーの赤は「キリストの血」、緑は「永遠の命」、白は「純潔」を表すとされます。
ポインセチアの花言葉も、「祝福する」「幸運を祈る」「聖夜」といったクリスマスにまつわるものが多くあります。
メキシコには、貧しい少女が教会へささやかながら心を込めた贈り物として、道端の雑草を捧げた時、その雑草が鮮やかな赤いポインセチアへ姿を変えたという奇跡の物語が伝えられています。
また、白いポインセチアには「元気を出して」という花言葉も。
クリスマスを迎えるワクワクした気持ちを思い起こさせるロマンチックな花は、季節の贈り物として喜ばれます。

さくらのつぼみへの投稿を募集しています

さくらほりきりのキットを作った感想や、日常のお話、イラストや絵手紙、飾っているお写真などをお待ちしています。皆さまの楽しい様子をぜひ、さくらのつぼみでご紹介させてください！



スマホやパソコンからの投稿はこちら

◀スマートフォンや携帯電話で読み取ってください。

※こちらのお便りやメールに、商品のご注文やお問い合わせをいただいても対応できません。
ご注文・問合せ・カタログ請求の記入はしないようお願い致します。

郵送での投稿はこちら

〒290-0034
千葉県市原市島野 1567-2
さくらほりきり通販センター
さくらのつぼみ 係

必ず①～⑥を明記してお送りください

①お名前	④電話番号
②ペンネーム（任意）	⑤年齢（任意）
③郵便番号と住所	⑥エピソード、ご感想

投稿に際してのお願い

お便りをさくらのつぼみに採用させていただく際、お電話等での確認は省かせていただきます。
名前は出さないでほしいという方はペンネームの明記をお願いします。

さくらほりきり 〒290-0034 千葉県市原市島野1567-2 TEL.0436-25-2222

2025.07

フリージア【2月】

芳しい香りが特徴的で、春の訪れを感じる頃に咲くフリージア。赤、白、紫、黄色とさまざまな花色を楽しめますが、特に元気の出るビタミンカラーとして黄色いフリージアが人気だそうです。花言葉は、「感謝」「友情」「親愛の情」といったものがあります。これは、原産地の南アフリカでフリージアを発見したデンマークの植物学者エクロンが、親友の医師「フレーゼ」の名前から命名したことに由来します。

可憐でかわいらしい花姿と、明るい色彩は見ているだけで心身ともに元気になりそう。花言葉にちなんで、周りの大切な方へ感謝を伝える贈り物や、春の門出のお祝いに贈るのにもぴったりです。

チューリップ【3月】

子どもの頃、両手で包むような仕草で「あか、あお、きいろ」と歌った記憶を多くの人が持っているのではないでしょうか。親しみやすく多彩な色を楽しむことができるチューリップ。花言葉は、「博愛」「思いやり」「家族への感謝」などがあります。

アネモネ【4月】

春の気配を感じる風に揺れて咲くアネモネ。園芸からアレンジメントなどに幅広く親しまれています。

アネモネの花言葉は、「赤・君を愛す」「ピンク・待ち望む」「紫・あなたを信じて待つ」と色ごとにそれぞれあります。恋にまつわる言葉が多いのは、愛と美の女神アフロディーテがキューピッドの放った矢を誤って受け、美少年アドニスに恋をしたというギリシャ神話に由来するそう。アドニスは不慮の事故で死んでしまったことから、彼の死を悼んだアフロディーテの涙や、アドニスが流した血から咲いたとされます。そう聞くと少し切ない花言葉が多いようにも思いますが、春の花にふさわしい「希望」という言葉もあります。

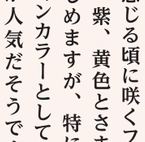
また、ギリシア語で「風」という意味のアネモスをアネモスを由来とするため「風の花」と呼ばれます。

オランダが有名ですが、原産国はトルコで、16世紀にオランダへ伝わりました。当時は希少で高額な取引が行われたことから「チューリップバブル」という世界初のバブル経済となったそう。庭にチューリップの花があることが富の象徴とされたという話も。

今では身近で親しみやすく、見ているだけで元気になるチューリップは、贈り物に幅広く使えます。

そよ風にふわふわと揺れる様子が「風の花」にぴったり。春風をお部屋に運ぶような雰囲気は気軽な贈り物にも喜ばれます。

すずらん【5月】



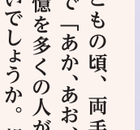
小さなベル型のお花が可愛らしいすずらん。純白の花色にふさわしく「純粋」という花言葉を持ち、ウエディングブーケにも多く用いられます。

また、香水の原料にも使われるほどの良い香りで、その香りで春を告げるといわれます。「再び幸せが訪れる」という花言葉は、寒さの厳しいヨーロッパで春が来る喜びを表したものともされます。

フランスでは5月1日に、恋人や家族、お世話になっている人へすずらんを贈る「すずらんの日」があり、最近では日本にも浸透してきているそう。

誰もが心癒される清楚なすずらんは幸せを運ぶ花として、大切な方への贈り物にぴったりです。

バラ【6月】



「花の女王」といわれ、フラワーギフトの定番でもあるバラ。品種として10万種以上もあるとされ、世界一有名な花ともいえます。

伝説では、美の女神ヴィーナスの涙から生まれたとされ、「愛情、情熱、あなたを愛する」や「しとやか、上品、可愛い人」といった「愛」や「美」にまつわる花言葉を多く持ちます。また、無数にある色ごとにも、まとめる本数ごとにも、またつぼみから満開までの状態ごとにも意味があるとされます。

幾重にも重なる花びらがなんとも華やかで、見ているだけで優美な気持ちになるバラ。友人やパートナー、年長者などどなたに贈っても喜ばれる人気の花です。

トルコキキョウ【7月】

フリルのような可愛らしい花びらのトルコキキョウ。7月から9月の暑い季節に、優雅に花を咲かせます。原産地はアメリカの西南部ですが、日本に持ち込まれた際に渦を巻いたような花びらがトルコのターバンのように見えたことと、花自体が桔梗に似ていることが合わさってトルコキキョウと呼ばれるようになったそうです。

海外から持ち込まれたのは、桔梗の花に似た一重咲きでしたが、日本で品種改良が進み、八重咲のものが定着しました。「フリンジ咲き」とも呼ばれ、30枚を超える花びらが重なるものもあり、エレガントで華やかな様子が人気です。

花言葉は、「感謝」「希望」「優美」といったものがあります。特に「希望」は品種改良で美しい花を作っていく中で生まれた花言葉で、明るく挑戦する気持ちを感じさせます。

ヒマワリ【8月】

言わずと知れた「夏の花」ヒマワリ。夏になると青空に映える大輪の黄色い花が、各地で多くの人々の目を楽しませます。

花言葉は、「憧れ」「情熱」「あなただけを見つめる」などがあり、花が太陽に向かって咲く様子に由来します。また、和名で「向日葵」、英名で「SUN FLOWER」＝太陽の花と表記されるのが、それに由来することも有名です。その名前を聞くだけで元気になれるようなパワーを持ち、世界中で愛されていることが分かります。

また、金運アップに良いとされる黄色であることや、茎をぐんぐんと伸ばして大輪の花を咲かせ、食用にもなる種がとれることから、商売繁盛に縁起が良いと考えられています。

エネルギーに溢れ、子どもから大人まで誰もが元気をもらえるヒマワリ。親しい友人やご家族など大切な方にエールを送る贈り物や、お店や会社などのお祝いにしたりと幅広いシーンで贈り物に喜ばれます。

心温まるお便りを頂戴しました！

皆さまからいただいたお便りやメールをご紹介いたします！

自分のためのお雛さま

こんにちは。桃の節句、いくつになっても乙女心が弾み嬉しくなります。70歳になって自分のお雛様を作ろうかと思いタペストリー・吉祥祝い立雛に挑戦。いつもはミニ色紙に和紙で折ったお雛様を飾ってました。

説明書通りに進み単品ごとに作品が出来上がっていくと和紙にはない輝きとキメ細かな部分の仕上がりに楽しくなり、布で作ったりするのは初めてなので出来上がりは華やかさと美しさに大満足で一人ニヤリ(笑)

京都府　水野様

ワクワクしながら作ったことが伝わってくる、素敵なお便りとお写真をありがとうなの！
明るく華やで…乙女心はずむ桃の節句は、さくらもとっても楽しみなの。吉祥祝い立雛は、実際の雛人形にも使われてる金襴布を使ってるの。みやびな華やかさにおもわず笑顔になるのがとってもよく分かるの♪

完成に大声をあげて喜びます

私がさくらほりきりさんを始めてからもう10年が経ちます。今まで作った作品は、数えきれない程ありますが孫や知人にも沢山あげました。

お気に入りは家に飾って楽しんでいます。

文化祭にも良く出品しています。

大きい作品では、木蓮の文化刺繍、壮麗夫婦鶴、風雅美人絵巻の押絵、最近では和の彩り吉祥花のきめこみパッチワークを作りました。どれも100点満点の出来ではないですが、自分でもすごく気に入っています。

完成する時「できた〜」と大声をあげて喜んでいます。

動物のしおりは今年初めて孫と一緒に作り、楽しい時間を過ごしました。又チャンスがあったら孫と作りたいと思っています。

これからも素敵な作品を作り楽しみたいと思います。

石川県　梅崎様

「できた〜」と喜ぶ様子や、お孫さんと一緒に楽しむ様子が伝わってきて、お便りを読んでとってもうれしくなったの！
大きい作品に、お孫さんと一緒に作れる手作りと、いろいろ使って楽しんでもらるようにさくらたちも頑張るよ。

息子のために鳳凰柄のお雛さま

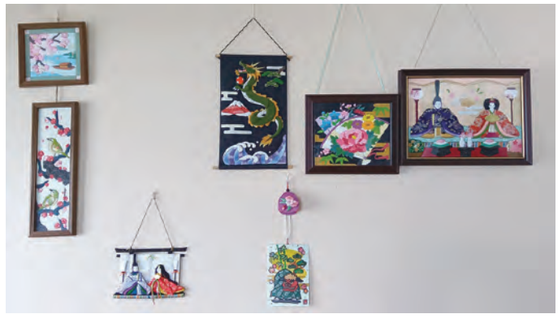
リビングの壁に色々な作品を取り替えながら飾って楽しみ、いつも家族からも好評です。

最近は「陽春親王雛」を作りました。

うちは息子なのですが、「男の子の幸福を願う」の意味にも良いかなと思い作りました。

男雛の着物の左右両方の袖に「鳳凰」の柄がくるように調整しました。また女雛の桜柄も気に入りました。鳳凰と桜共々縁起が良く気に入っています。

北海道　あき湖様



息子さんの「幸福を願う」お雛さま作り、ステキなの！ 家族のことを思うあき湖さんの気持ちがとっても伝わってきたの。鳳凰の柄かっこいいよね。ほかにもたくさんの作品を飾った写真をありがとうなの。素敵なギャラリーにこれからも作品を増やしていってほしいの。

誕生花のお話

素敵な花言葉、言い伝え、風習などを添えて贈る

発売以来人気の、「きめこみ誕生花シリーズ」。以前、誕生花にまつわるお話を連載していましたが、お客さまからのリクエストをいただき全ての月をまとめて再掲載します。ぜひ、商品選びや贈り物の参考にしてください。

誕生花の由来は、国や地域によっても諸説あるそうですが、古代ローマやギリシアの時代にも遡るとも言われます。月ごとに咲く花には、その月を司る神様からのメッセージが込められたと考えたそう。「枯れないお花」としてキットのモチーフにも人気の誕生花を知ると、作るのも贈るのもまた楽しくなりそうです。

カトレア【1月】

大輪で、まるでドレスのようにひらひらとした花びらのカトレアは「洋ランの女王」と呼ばれています。四季それぞれに花を咲かせますが、霜が降りる真冬に美しい花を咲かせるものは、花の少ない季節にひときわ目を楽しませるものです。

花言葉には「魅惑的」「優美な貴婦人」といったものがあります。エレガントな花姿や上品な香りから、大人の女性の品格を感じさせるのかもしれません。

また、和名を「ヒノデラン」と言い、朝ドラで神木隆之介さんが演じて注目された植物学者・牧野富太郎が命名したしたそう。カトレアの花の美しさを日の出に見立てたそうです。

優美な品格を持つカトレアはまさに大人の女性への贈り物に最適といえます。